熱誠こめて激勵

東·羅 大島大使招待

「祭會

とする。その他会議博化、劉康 いでとす者に 次額等を 間 一致 原案 通り 可決 死 なう歌めて観悟は認識するとと と 歌成歌を 都場 一致 原案 通り 可決 死 を贈らればなられ、而しこれに と 歌成歌をなし探擦に入り 浦 び質材の政治生素故順等の判断 されたい たより像緯の効果的菌はに努力 案(第一號) 通り可決回三時九分飯雪物價吹成の言葉店贈制の確立等 一、昭和十五年返還人泰田徽綾寺 ひ これ又 浦場 一 致原とする、その但公園消化、氦策 いで

明年度総豫第第

原条通りに可対

医康保 赊法中改正法 規定案

質疑なく委員附託

部上様、阿爾隆軍、豊田伊軍との間に西送職者あつて曹雄を終

國防保安法案委員會

兴寶世法中改正

臨時軍事費追加潔算業

獨の英上陸近し

ジョージ上航外委合員とを胡園會(リッアツクス大使は石僧見後記ファックズ駅米販大使は三十一日(記)たものと見られてある、なはファックズ駅米販大使は三十一日(記)たものと見られてある、なはりのでは、同来の誘波が供方を要

残らず餌奉公人

中型コンペルト V型ロープベルト

他記せしめんとする はつつて日本その他の嬢々を協協

コンペヤーベルト

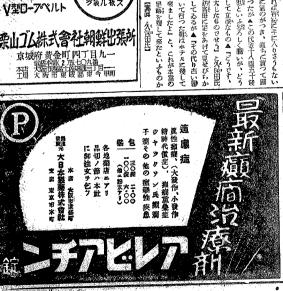
純然たる侵心用の大戦備

東亞へ野望强行の態勢

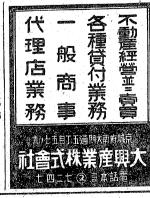
事を逃ばし一戦北はカナダと共同 硫中の一能と云はれ、ことを一変光齢同して作戦するととにまで、ども、新潟玻璃様の設飾は出

駐支米大使

他といふ欲ろしく願いが、どう つたが▲この代章十八瞳五十段 に氣のがつき、直ちに買つて歸 いて行つた靴はホテルに變してしてゐるが▲『その代り古い趣 大しなものでせること外外田氏 れば容易に手に入りさうもない の離べ代



京城府旭町二下目人番地京城府旭町二下目人番地



7

北南

の稱あるといる何内で、哪人經 いものはないかと痛の眼咙の眼

西

Q is



萬分一地圖 販賣元

|鬣刺進呈|||京城府黄金町六丁日(訓練院師)|||スル著へ他ノ追従ヲ許サメ本校へ深レ

京城第一当 三重。

城父砦を占領

の 製罐、天谷、山本、江城、三井の なとい家の書家し来る故郷を同公路 上において映郷し各市に郷がなる 職職を司公路

影の形を

精銳器

けふの両院

勤する攻撃の危壊なきこと表明 ・薩撫車の墨門家はアメリカに したが要官左の通り

家に對する報告を三十一日般

大型の東京県大名は電影の 大型の理田 大型の理田 大型の理田

タイガー計算器株式會社 京城出張所(電話本員(272 9 9 4) (本社工場 大阪市東部川県野中南亜ニノナ)

政府原案可決

米武器貸與案

w議院 健算分科會は 一齊に 廿日

聚狀形

全四

的に検討

來過下院通過

九日初 評議 具會開催

役員を決定

朝鮮與農會

箇を新設

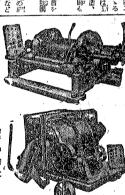
朝鮮與農會役員

室 鰤 院長 醫學加士

父さんは食むへ、

は學校へ、

| ここの 日をボケットに



京城岡崎町 中根機械合名會

般特二呼吸器の機等語

:125 京里中江標準医 前秋学川湖林の六町気度州城京 番から六三〇一門化光。話電



婦產 人 科科 醫學博士 電京 宮 本城 本城 一 三府 **河** 亮 Ton 院吉

入院隨意

入院随意

京城府黄金町三丁目永樂町通り H

斯斯斯斯 原 取 和 取 井堀 Æ

出资

全里全是明正的 創 立 京城府南大門通二丁目 明治三十二年

監朝鮮商業銀行

新聞良三澤

交流電弧熔接磁 各種電氮熔接棒 八洲代用ベルト (正和製作所代理店)

小林弘之介商店營業所

ローレンス

参明の人
「
中草二郎著

A 72

質にも一

本實彥蓍

何・七の子

俣 久 作 校註

では五〇 午價 四 六〇

東京 中等朝鮮語受験者必要。 一時期鮮語受験者必要。 一時期鮮語受験者必要。 一時期鮮語受験者必携会科共1個九後 一時期鮮語愛朝鮮語教科書。 一時期鮮語愛和鮮語教科書。 一時期鮮語會話園一個十九後 一時,以為此時, 一個十九後 一個十五後

東の人の歐洲交化に對する態度 まの人の歐洲交化に對する態度 によっろ。とする名件だ。状況とは によっる。とする名件だ。状況とは にえる。個ひ早ら氏の紙ぎなき性 でえる。個ひ早ら氏の紙ぎなき性 にろとの 台頭側は、便性にも懸然 にるどの 台頭側は、便性にも懸然 にるとの 性性。

本かの子

林 荚美子薯

一利光横 篇一第

說社

而してその場合、最も瞬間

興行協會へ

造

fit

雪と氷の精鋭

千三百餘名

晴の神宮大會出場者

一府縣對抗一

代表の選に來る四日から六日一回明治練呂父学大會はいよ

世四、第山十二、新潟七十五、湯 神奈川十七、新潟七十五、湯 東山七五、瀬島土一、三京四 東山七五、瀬田五、鷹島土一、三京四 東山七二、河山五、鷹島土一、三京四 田田五、町田五、町田一

一金山 豆碱

東京、中部、園西、韓雄、隅東州でスケートは北湖道、東北、闊東

一五一一五

二月分申込者本紙皇軍慰問

百八十一圓十四錢也總計金十八萬四千九

文語祭 同代表 牛込

北海道軍强 耐官、冬の陣の展望

血清療法の如き煩瑣なる操作と時間を必要と

然もその無効なるⅢ型肺炎菌に對しても

內服或は注射による簡易、短期療法なること

を來し、且つ死亡率は大いに低減すること。)心臟衰弱を招來する高熱は概ね短時日に解熱

病原菌たる肺炎双球菌に對し、

獨自の菌増殖

中耳炎・腦膜炎等の餘病の併發を未然に防止

豫後の經過を著しく短縮すること。

形式に顰起されたので唯一 今年から二名一組の

V飲湯、様太も期待さ

性越優。法療

對に炎肺 4

肺肺肺 院に於て全幅の信頼を 歴に對し諸大學。各 隨膜炎菌、淋菌性諸疾 と、純度の極めて高 ピリヂン劑にしてそ じく双球菌たる脳 て、肺炎を始めとし とと・・等の諸点を

正純の初最本

場合には、直に本療法を以て肺炎撲滅に遺憾な スルフアピリヂンは以上の如き從來の各種肺炎 さを期せられんことを希ふ次第であ 決定せる場合、 法に見られざる利点を有する最新鋭の化學 心の治療成果を擧げ得ることが期待される。 治療の第一線にある臨床家諸氏にありて 適正藥用量の適正驅使によ 的早期に受診せしめ、

mon

永小兒科 ^{醫學博士}德 永









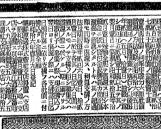
工事施工 想的保溫筒

41V970

在庫豊富 税明書贈呈ス **黎東市 湯澤南店工事部**

京 吸 府 大 島 间 五 簽 地 電 医(4) 1 9 0 5 出最所 消 律·元 山•坡 律 云 系 京 坡 古 市 町 四 三









咽喉力欠流行性 喘百 気管支力タ 大人百分大人百分 包 プツロシ 駿 可显示吸忌 社會式株藥製村植

肺 | 感 | 炎 咳 ル 胃 ル ににににに

製創氏行德原栏

【元 造 製】 所究研樂生鸝溪 【元 竇 發】 業 參 城 開 社會式

日二週一大部城県 梁 井 新 武隆 渝 項 浦 月 郡 潤

| 用法及用量||コーヒー深刻に本例を一回服用して下さい。| 定價 五十瓦 窓 囲 野谷地発売・デバー 定 價 五 十九 窓 圓

効能】 虚弱、貧血、冷え性、精

事と存じます。

いて最も優秀な人参として有名劑と其の製法を異にし朝鮮に於鮮麗蔘は従來のあらゆる人蔘製 し人蔘の風味を害する事なく服めりまして温湯に直ちに溶解



54

士博學医·授敕學大國帝城京

【店理代總鮮朝】

房米井新津清譜

講演會に刺戟されて 血書で志願兵を歎願

寒に鍛み裸體々操

風邪の神、も退散、仁川職業校

今年は豊漁

物騒な天然痘

文店 帮助、爱助、永满、东西,积城府南大門選二一

其他一般信託 不動 难信 託 不動 难信 託 數 信 託 配 數 信 託

智爾內爾斯智

お多く、大十代と四十代は報問じ数と統計は示 も名離階級の方々が多いのは憂ふべきことで ではないでは、大十代と四十代は報告に少ないのです。 は多く、大十代と四十代は報告に少ないのです。 は要は、大十代と四十代は報告に少ないのです。

「江蝉」 繁烈 著電内における釈迦 一借み、胃込みに一層飲用なる 江華の經濟界に朗色

忠北の豫算

自然の美しい

目指すは養豚増殖

安城に家畜飼料配給統制組合

『これではならじ』ご仁川府が檄

京城の卵饑饉解消へ

効自は流石に官製劑 がおいる最高峰

振・胃腐強化に 進。疲勞回復

お試し下さい。必ず侵方の

一限します。

戏植内科 治療に導く。 治療に導く。 上記病原体服によって **術質が網えず** 張力なる化學 この単な レギオ お短期内 か 経滅する の異なつた。最も進步來のものさ化學構造 レッなって、そは在

悪質の、闇、皆無

高陽都部落聯盟初の理事長會議

2へお難狀

を建って

内科醫院

プロカミニ などをないか 黒壁に染まる かくして した 化聯聯法類で ある P 化学療法型の 症 恩 Ü 定壁化した!! 中 耳 炎 等 扇 縣 炎 | 歯槽膿漏・歯 観 炎| 化鹽性 婦人科疾患 化膿の病原にる淋漓、 等の各種球菌を齎す、これを換減するズルフォ 【假定裝包】 見以来既に数年、遺の震出をみたが、真に人体の解毒機能 強の發見合成に

大日本製藥株式會社

競は着々具能化してある、大館の が表彰量すること、なり、既に計

具體策協議の座談智 別から一月一日を以て市路融資を報言を臨って來たが脳相沿紋の鍵 質が設けられ市政国際上における

牛撻運材だけは、おらが多し 晴れの入選者發表

児子の一扇風では「あかつき」の

震管は來るダイヤ野山朔には智 たバシコ歌(バシァイツク、太平 【 年趣】 膨影では平階級の砂袋力(Pab) 野野島「あかつき」の平 太行のた、これにはこの機型にして合城・ 降仙 所 驛昇 裕へ

來るダイヤ改正期には實現

近級権なる宝蔵を教御し水銀柱は一番州】去る廿九日以来の悲殴は

結果は「大糖図好」といふ例正を 注第五個ご 機関軍を使用したが、

神都扶餘の市計 住民の移轉教済 際地行政権が市政に移譲されると 民意を上達安東省委員會

大田(三百四日)八重樫幌型への通り

岩の金部、夜北里・蘇×里・

住塔里の各一部の脳域に

川、塩を形以せしめんと

和密から推覧することとなってあ たので、推選した船融資制は続て

矢つ張り國境です - 江界地方は零下四十二度 咸北聯盟募集 ポスターと徽章

郷山部で 泰樂した 優片 歌堂棚に 響を呼び起し、朝鮮は勿論、聞く

日は聞きませうとの行難くない御

海州も新記錄

零下九度一

の上、実験市が地紅鷺に中ふ一般「賞参で山田里寺に「FJコニF―」 中九日暗鴨からの気候ぶ | 代表 | の上、実験市が地紅鷺に中ふ一般「賞参で山田里寺に「FJコニF―」

無過は下り坂たが本年は稀に見る無過は下り坂たが本年は稀に見る

| 職権人もよるへあがった、以後の | 少り | 低級度響下四十一度にはさすがの 歩ぶりである

電車も停る

側に、この歌曲を削機所に打修

の下と國民間力成北道航空で築い

平壌までつッ走る

超特急あかつき

した、青いいからず、土田神川 東日田を御園郷田した柳里、左に撃十九田一分とい。記述なべ、三〇中から郷景の郷と言葉する

【咸北】されに本社咸北支原後後 一時まで延長観察することンなるで、十曜日であった場合は午 教務期間を一時間を

個所では八日から三週間配旧線員

四萬五千人は

他道に依存

成講習會 船舶職員養

鎮南油で開催

あるが、去る十五年間

に中北道内では何組の内験 【新義州】内臓を即で結ぶ結合々内臓結婚々につ

閉道内の各種事業は十六年度内に

人の意味を要認してゐる 忌明寄附 麗西 医

【平伽】 生産力場がに翻進する平 | 子倫尼町嶼原を執してるが本年男

平南の勞働者實需

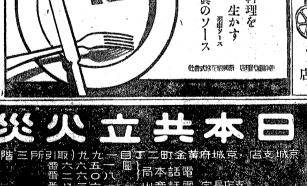
内 自人十三人、昨日の財団よら一高 ・ は、正社にいる影響者の1日 ・ 数を助してめるが、後、「この影響士 ・ 数を助してめるが、後、「この影響士 ・ 数を助してめるが、後、「この影響士





野郊川、紫陽日は、豊を開催したが、集川着工。百名、歌は藤観春を用催さることとなっ 駅く日だとの高度後、日番と附上色観代等水砂糖氏の高、たが、今年代時代・戦紀職場は戦闘・歌り日だとの高度後、日番と附上色観代等水砂糖氏の高、たが、今年代時代・戦紀職場を用催さることとなっ 震災が逐年増加するに陥み、この 八月までに新設











五台の米とトウモロコシ 八升の米菓子となる

所作製品兒讚



ですべくない中である、四さ 時局犯罪關べ。昨年七月平壤法院管內、「平國」

い際し智典をした代への五十回をおり、一段明献金・曜山の日本の日明

任務を果し

て歸れば

病む妻は既に上

感激 模範集配人の職域奉公

に選してある、その内部は**開始**紙件數は三百十五中(六百六十七名 方法院に持ち込まれた時間が駆から十二月まで大々月間に平場地 たちのは七冊(十四名) 柳野科称 が一件一名となってある

米穀增產

遂に全員無事救出

落盤事故の現場、深夜の坑口沸く は耕種法改善を根除とするものでれが具際派を練つてゐるが、増産 交通聯盟

がに対車することになり、目下と

職長、崔励和曹富本部事務長以下

0

|各||鼻傷あ年常性

重質な華道具 瞬一文字の 花活は國幹 時から協和曾観で銀行、愛

退營軍人輔導

【意典】時報―地下一千古首尺の「軟職」をれた膨胀があったらしく「意典」時報―地下一千古首尺の「軟職」をれた膨胀があったらしく人夫が一人の簡単者もなく奇韻的「なれてある

|村和が信息船戦物が無望のため船内||あょ、天は無備。撃左側さんはす。と等ってなく、関系集館人としないったととなった。実践されたが、元月廿九日||単称を駆し軽くて関示したところ。 中たらしいどとをいったととないます。

大邱に愛國母子寮

してが質せる活動を展開しなけれ市における腕和治政の最高機關と れが機能強化と連感の最悪を鑑し

死の数田作業によっては卅日午後

一概の緊急にあたつ |開業外間では 瞬境第

は本年度活動の立能方策と委員曹

勇士遺家族に安住の地で與へ

生活を教化指導の案

の他學校の移輸に闘する基項▲

第一年同時「報性れて以来解析人」 報外の状態と陥ったとの報せを受け、日中一年同時「報性れて以来解析人」 報外の状態と陥ったとの報せを受け、日中の時間が、現代れては、現分の大能となった。

でつたが、軸田部長は激励して課るでいたが、軸田部長は激励して表彰すること、な

路谷 にも雪へなかったと

宅もせず翌日まで働いて途に要

いをとは。たい版の一間に

○ 取除計入利 で松泉、まなた L さんがかねての心臓病が態化して こんの昵称 はる貴族概念とその職美(決)、の主任大郎結(酸)動 | を魅ってみる最中、向我の駅を練してできめたくなってゐた、との村

「大郎」は直覚さ、勝岐素公が繁巻く記される実践野五年の智、身仕館しい「集単すなから、十つ印像なる見花観念から、はた郷華家公への懇談からには残り観然にもつひに臣を職事して「機衛集紀人とその活要」製御職……

扱ってるる大きな責任感から聞きらず、自分が職場で重要事務を

て同僚からも算敬されてゐます

侵雪を開き決定を見るはずで、新 等を設ける計量で1万上旬本部委

「販売公の蔵をつくし「融質な模」 「販売公の蔵をつくし「融質な模」 「職場を離れず、愛荷

華配人だ」とこのほど悲情感受 ・ 交共日 時間まで立派に東配

各片屋 1841周巌湖町一ノ二奥徽 草 圖 案 1等 (質百週)

慶南代表は誰?

[细事長] 丹下事務所長[理事] 高橋縣拼、山內運輸、小野運轉 林縣理、小林上務、即井舊潔、 中本須要子課長

第一次合格者廿六名中から 更に第二次豫選開く

中国際として単編成しゃうと歌組・開した、なは宮殿の景景は宝石の一をつくすべく声に響ひらつたから時間を響り切る弾力な単態のあまり謎をと呼す戦的ツーン社殿、ますくく音楽場に近て輝くの家会の歌歌な科を書書を悪き選ばだけ、おけれるく家殿だちもまた戦闘の一時に歴史の影響に強い観光の歌への報会に まためこの極悪資料 または御神伊を順呈 または御神伊を順呈 殿に各族祭戦員一同 国 東京記述を終了所では、 国体金、際(賞十嶋)三名=京 域が海豚の町八五竹中央方好中嶋 で、国 海東が生物町二古名時 等、国 牽天市大利経牒巻徳の のの別がは原文サチ

慶南豫算道會

四十萬の若人を網羅

男女青年團の改組

忠南、先づ初等学校長の打合智

元コ二十六名を渡んで卅一日は下 出される光彩の響楽代表は織かり後一時から山田、緑村、酢脂の三 第一次繁要の高者に左の二十六名 である 「茶山」全職協議」上大名に對し市総院四時間の総心 事代会コンタール機、在職事を聞く総言上げて年後大時 事代会コンタール機、在職事を聞く総言上げて年後大時 財産大阪は十日後、在職事を聞く続き上げて年後大時 財産者へ乗電話に、権力で紹介と在前を持った。 おける第一次修議で、権力で紹介と在前を持った。 おける第一次修議で、権力で紹介と在前を持った。

ペニヤ製材工場

製材機械鋸類 各種水工機械













本山二九四一番
タイピスト語製品集
多年人は大十語製品集
のの一般で名響を終って高い、一般で名響を終って高いの一般で名響を終って高いる。

院

管沼京城營案別

本町 鐘 紡學系部 安不可 鐘 坊

情别 等內

大い一戸を窓路が上記した。

Eo月苗

金の世界人を前述行員大會では、一枚の一位は、はいない。

看護婦な別を用 1

老 接 鄉及見行此自 原本工學了自 第本五三 第二

| 京城市東台|| 田 在 は 人 科 海 院 山田 在 婦 人 科 海 院 女子,外交員—名子、監督 文子,外交員—名子、監督 京村之場子 元叫二—自为宮道芝店

実集のたけ、域数数



便の方の終上半体報

但談所では路域層でも開いてもつ

2 合月月百

発

のり

離

施整 形外科 17.57

愈

伊展と

式叫水第を巻考に各土地の状況によって適場に掛行すること

國民皆戦士の決意

農批制而相談でもの両名を引致私一約千六百回を偿還、釈堂町命大國」とが判明した

相名の名

点

國境に敢闘する

教員を慰問

鹽原局長ら勇躍發つ

約手詐欺 豆酯山

建國祭東京式與決る

小路を打ち扱け |回三陣十字観音する、全部団はい||大使に続するとともに大語文使の生中部に数をあがる使むと友悩を||地数を整るため書籍問題は、神し

さあ愛國班でやらう

この際防空細道は絶對必要だ

現在松内の部所に紹介格があり、 る家の取復し、顕教戦地の健正な「不概で豊止りてあつたうへ小曾は「複数候解影に顕敬したところ団勢の野歌に着手することとなつた、 込みでとりかよれば、ि殿を勝され、と親明、歌歌の原はは昨年の天候 「手信」 を水敷離から東京市は原空族の境界に願いて原兴和道 路刊時に帰り出し々雑飲すの意象「<黄城機樂却合から出俸した四番」る、その後との記録がの民が都に終く京城市で、 しみでとりかよれば、「私歌機楽却合から出俸した四番」る、その後との選挙の反対部は後を終く京城市で、 しみをびみに正本至うたものであ 以が一事にとりかる。即に 米、砂糖、酒など

総里敷色し、とんだ傾射確言の活したべきるもの々との様はなの条弦方法が眺く水分を吸収した。では、彫物は何とあいうと

【舞幅電話】繋籠織守刑號表世十四名は絶望

第五御影丸

見られ

大の新聞無八級星南都日本人の新聞無八級星南都日本人の新聞無八級年曜日本橋山村一大田の北京日本橋山村一大田の北京日本橋山村一大田の北京日本橋山村の北京日本橋山村の北京日本村の北京日本村の北京日本村の北京日本

でおる軍用大と

に通

いるない

プチオの一般を表現の

成養

アシケンし

樹木縣 原間

向ふ途中

消長にも影響するのだから ***

業登記公告

藍直着

海州地方法院

八は田雲の神機を悲観させていー―何はともあれ、京城のい――何はともあれ、京城の

いつて 機神者

高等。

景日炭

和学が三十一日子教九班を自

の途についた日配の連続は、一日

四五十四四十二四十五四

比較審查入選票林省御推奨 任為式七分詞來搜, 電話本語之 明為式海水傳奏被, 深層。元朝 明為式海水傳奏被, 深層。元朝 明本式海水傳奏被, 深層。元朝 明本式海水傳奏被, 深層。元朝 震響所 朝鮮 支店 電話中間 2 光六五九番 原響原域 1 元九九番

内部業登記公告 のでは愛吐の経知を通行に関いて のでは愛吐の経知を通行に関いて のでは、一般に のでは、一般に のでは、一般に のでは、一般に のでは、一般に のでは、一般に のでは、 のでは

我らを遮る敵性は 國同盟で痛爆 決然たる。將軍大使 と大使は宛にく動く戦がくを開きと大使は宛にく動く戦がのながらればの縦を左の如く戦るのである「震撃」射縦ホテルで戦る 外交」の此路を訊けば、大便を酌量にたづねて「無敵俗域 に魅って旅襲を帰くいとまるない す組好。図は今だ」 がある、ドイツは歐洲に日本 | 化し最後に開機管の登壁で 強下 類に整然とは別、驟幡比草な海上式典の幕を切って落し量、裏部値に大日本海洋少年譲等差加韓沿節を地した鉛隆は式東部値に大日本海洋少年譲等差加韓沿節を地した鉛隆は式典の幕を増入施工。

億民の決意と友情を贈っては 送らん哉、大使 ける感激の壮行會 社法を敵闘する

共同購入

オオン街に新組合

黑星海苔の正體

簣止りの上、保存が悪かつたが

五」で入城した、開西将軍大便

佐久間信順間、三浦一等書記

財産用現所の手を終て在一音とが配縁のあったため、専治し、物に自然なその後継載が水脈脈、脈木単合ほどが晩晩のマダムコ子・歌楽書は顔脈葉は微塵が、都臓・十九日、彼響された。淡葉は 現代計・進音の助送に鳴影さ 一日小婆・夢から形式脈中難芸でいるとして全國に記述されて のれ。古に異りかめられてゐたが、潔帯寒寒がに優愛され 出し。」。「他國日に繁勢する **警門食用の太鼓判**

でもます。昨年は十回位家の目録は三ヶ田間にどうしてもてきましたがこの単級調査の生田側の三両はこの職所得をことによって側が力を置か、地域でければ、水雷の間をしいるのでありますから、とは、単げなければ、水雷の間をしいるのようから、としては、

とて頭が紅腹心に比立てるため楽」=明立朝曹」

婿殿がお待ち兼ね

---去る古

娘よ堂々と名乘りを擧げよと

勝渡の船といふものはなるべく 五光が総一反かでとれたけのもの他のは音の一般がかってそのから あっまっ。 たいかことになってみるので 勝波 水は温度できざいます とになりますと、大会で五名大学 こ見きすと非常に描き渡すがすく 承るということになってみるので

収穫の素質をもつてゐるものでの自性が一反步で作りて語ったも、彼ってそれを創版にしても御影が

形をもつてあるものが肥」を財優して居ります。との五石

然、一月と胃に十人二十八年

期成層長の香椎氏

五十萬圓を寄附釜山高等水産へ

は国力と言うまなければなら、土地間線などは「土壌・十一間・ゆくさま」と、るのでは、大山の上、田郷するといると、「日野地のら「間の生活をする。脈域をするよりも、間において、大山の上、田郷の上、田郷の上、田郷

は日本生 と別事をといると

「日標は一にそとにあると機信」関といふるのが適けて下ひましたのが出来るのであります。

「日報に関係しているのであります。

「日報に関係しているのであります。

「日報に対しているのであります。

「日報に対している。

「日報に対しているのであります。

「日報に対しているのであります。」

「日報に対しているのであります。

「日報に対しているのであります。」

「日報に対しているのであります。

「日報に対しているのであります。」

「日報に対しているのであります。

「日報に対しているのであります。」

「日報に対しているのであります。

「日報に対しているのであります。」

「日報に対しているのではなります。」

「日報に対しているのであります。」

「日報に対しているのであります。」

「日報に対しているのでありまする。」

「日報に対しているのであります。」

「日報に対しているのでありまする。」

「日報に対しているのでありまする。」

「日報に対しているのでありまする。」

「日報に対しているのでありまする。」

「日報に対しているのでありまする。」

「日報に対しているのではないるのではないまする。」

「日報に対しているのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるのではないるの

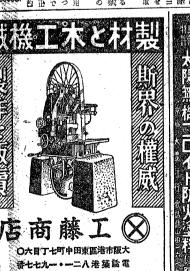
出された田豊の神器も、豆娘の岩、無機など、豆婦・土命の三級では、てゆら時へてある田飯所やのの前の海線を、豆娘の岩、無機など、豆婦・土命の三級では、てゆら時へになく、大手 結婚相談所が大聲��吃

た弾戸水上等では引致戦災な以郎(この景観不識に目を光らせ 門第四 上述

械機工木と材製 太陽無機コロイト防火塗料し限る 調金の運転

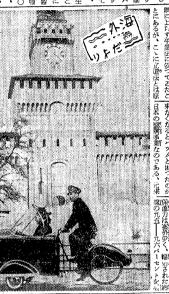
番 一 九 七 九 一 一 阪 大 替 振

Same of the second



朝鮮のタングステン産出

ルスの新發乳(



本

一三五番地

里野孝府范目住人们會都設禁學國人內沿門惟盟口一大小政所者金此一貴順獎保巨學地和通時 曾撰示

本、 商 東宮、 舞鶴、 鬼 所 別 別 別

1、結核療態の進行を刊制し、自体治療を促進す 2、赤血療が神経度を従かべ正常に復せしむ 3、前衛代謝療能を出路ならしめ。取代力を想め 心身を模決に、金線を伸進し、受定を得 4、格殊環を減少し。酸素を確か。部件制止に特效的 5、複額頭、難過點を去り軽減酸剤作用を有す

植村製藥株式會社 京城市黨門



屑鐵禁輸も驚かぬ

七段△梶

駕 海 醫院

電海二點 医代苏城 破縈了搭在 錫格

京城地方法院 在福州於常日東出 在福州於常日東出 在福州於常日東出 有福州於常日東出 有福州於常日東出 京城地方法院

肝んになります

人

F 丙

(2) 翻考鉴

第一放送

朝の部

化強体弱

4.5

用弱 每日或扩照日一回二〇00を翻点内托射 包裝 二〇00 一〇曾 三〇曾 五〇章

鳥

助 腹膜炎特殊注射劑

大阪中野町居 商 店 商 店 商 店 商 店

一上華國

面 村製工 瓦宛

病氣見舞の最適品

佳芳味美

加無線で送り

戦闘定の親北に三十二日下後帝國「西寅一日向展主部報」繁修印祭 取職上で行はれたが、調氏終了後

丁べき事態となるに至ったので

日本代表部發表

【東京電話】鉄線の失地回復要求 | リー卵大便、セナ紫公便を通

絶大なるその意義

近衛首相參內

臨時閣議 審點 一日生紀九時より前相僧邸に歴

歴史的なその

瞬

言明を避く

學者日本として巨大な一歩を 僧てなかつたところで、東亞

出したものとして重要な意義を持

講和會議では

最善を盡す

會議開始以來僅か三日

に見る 微笑しき 親善風景

理解と努力の結果

欣快措く能はず

表發局報情

東亞の紛亂は

東亞人の手で

面の頂護交換を約す一配間には説明を避けた

高数がある

闘する情報局發表 泰佛印停戦協定に **壁向には好時番目の歌時歌事物像、は郷よく排出を郵源することゝな寒飲の郷が硝感きに郷み、且つ事、ために漢字に聞に含はの藤田郷教【東京生誌】 阪時は原開以來散験』を確定すること、なつたがこれが**

三法案液會提出

これよりでき午町十時から院内で一で輝く

一月中旬に閉會か

不急法案の提出幽念

東条の1.特別委員会が開

昭から情地法欧正法能炎脳で融一方振りに 近親樹緑、蝦懸の後四十日の謝医院は本曹潔なく、午前一まつての 磐川を行ひ、 譚揚 は久

五名といふ。似近の静雪には珍しい

正シイ

るやうになった。誠に結斷な

船を接出せしめねばなられて 収録を切止し常に若々しき生

る實感性の喪失、概念の

議會史空前の快調裡に 重要案件を處理

等につき脳融を行ひ、同十時週 臨時農地等

兩院二月を迎へ一段と緊張

されたが、本會議に『『郷き開かに對する議員は繁部の歴史が決定

一般するもの 4 顕著な事實や膨大な一般するもの 4 顕著な事實や膨大な 塩が何等工作目的に供せられず

用作行命令をなし得ることとした一二月一日公布、副日牧師される無統約なる影略の影響院止土・昭利一が、うち霊師令能びに通行規則は 日獨友好益々固し

ある

北、安徽三省の各所へ擴大しつゝ

軍と撤戦中である、

しかして

【ホノルル三十一日回恩」 赴任途 野村駐米大使

重の大部分は大連河の東方地區と

と 歴史の重の確認に関する武力攻略を影像とし「蘇、滲鬱、沫鰯、彫跡一帯におい 世紀に関する武力攻略を影像とし「蘇、滲鬱、沫鰯、彫跡一帯におい

ヒ總統、わが視察團を招待歡談

では、 では、 のでは、 の主力は一月二千九日以來化忠行。中間地宗にある新四軍の各部隊も「華と探夢を突襲した「生新四軍戦毅の孫神宇る江北部隊」れるが、即に大地部及び継載被の「堪称、(ロン・ウィイ)上海一日向国「重慶衆軍によれ」 り北上し来つたものであるといは、上ノ町上県が入してい

英本國を繞る水域に

でルリン特電 | 卅一日 | で左の蝶を削りたない。 またれは英本士を | 複差能機 とおいて記載がる しゃれは英本士を | 複差能機 にあいるいした 一次第次
 一般
 一次
 一次
 第一次
 第

|に戻て売産館の信職する神北省内||日より大名を中心に飛繍、西鸛・「あり、石屑にたける郷銀同館の編」とトラー連織の對太潔古る歌名しの命に建づき日本館の古歌神場所。 常窓地壁の郷着を巻つて売る中九|| 郷沙壁との間に難実を薫むしつ」、べたが、卅1日ドイツが発布に右の命に建づき日本館の古歌神場所。 常窓地壁の郷着を巻つて売る中九||郷跡をの間に難実を薫むしつ」、べたが、卅1日ドイツが発布に右しの正式が重要して、水酸酸を一点はずるであいりと歌

日發リノックス米海車を管は出 强化の必要 太平洋防備

の樂士建設に関に一歩を進む。

大東亞共衆断職立のため目用

封鎖海上戦激化か

それだけに朝賦の使命は置い

駆けて臣道道後に選進せよ。

開政場合では、東日「基地朝 が大隅しにされてゐる。



の合品を企て欧次北上しつゝあり超過 敵を殲滅 されてある

可決、本質がに規附した

國

志 [424]

京城岩嶼大阪教授 上野京城岩嶼大阪教授 上野京城岩嶼大阪教授 上野

矢野 村(盤) 吉川英治(作)

疲勞恢復と

要法符許)

とと以外に国真質様はな

足形の展開に従って民道

を戦深し、音松、勝川、磯が、庄 司、楠樹、瀬井など各郎縁は卅日 下麓以承伯蘭さ銀八十五軍の大部 《海軍長管は卅一日の上院外交 通過に躍氣

新體制獨語

天張りことあげせの民権の上、萬慚想に手間取つて居ると臣

(質行することである、在

だが球々に最も大切なとと

原盛氏(釜山地方銭道局長) 澤光氏(同縣祭課長)同上

推察がつくといふかり

き』で隠任 時の録音

激烈可もので、崩壊に激謝を 大陸の戦勢に領敵を鑑賞、猛

せて闘ったら――

がを記さ、この響

ではいる。

がなるだい

和戦を記さ、この響

薬にいる

なるだい

城庫一氏 (連維商級監査役) 州へ下つて、 といいを関の命であいま使の命であ

然に荀彧などは、ぶん(窓り て送る必要はないぞ。みんな単つ『瀰劇がとゝへ出て來ても、立つ

底を見扱ってやれ。 であてよろしい。あぐらを組んで がで無なく立つてゆく泣り

のうちからのとく 出て来せられた確態は、やがて 馬に乗せられた確態は、やがて と、いつて憚らなかつた。を見扱ってやれ。

が上げる。

新いなつてみたに強ひない。 かしそれと分りきってみても、文 かい書頭は、小部大を置する。こ ころんな気のふれただに悪意に、 能とな物なのあれただに悪意に、 ないまかしまったが、ないまかしまった。 で リアニ店薬・店物産土・内車列 販賣店募集 计地特 約 健康增進 杀

森川盆夫

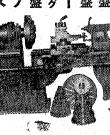
注科・婦人科 醫學博士

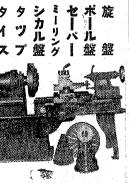
理像の返解は、まるで見畳もがよ……」

「いや、いや。わじは運動の巨大から見れば、首のない狂鬼だそこ 大阪市南區內安堂寺町一

(700

タ タ イ ツ ス プ





門出の緩 と、ちよけに、硼虧を見て揶揄っらせ、鍵 みなグラく 実び出した。 街或は のなだの 長繁 ・ 場がげの 長繁 ・ ・

『先生。――嗣の首途に、何をそ

「バンコック卅一日回盟」薬、佛

泰首席 全権語る



帝都の興亞泰公

愛歐各常會の大收穫

加藤平太郎氏は語る

ビル街は落第

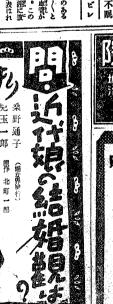
三百餘名の班員のうち出席者わづか六十名 川岸さん暗い面持ち

嵐の拍手で防空壕着手を決議

国と

紅頬南さん景福町常會へ

便秘。舌モツレ・手足のシビレ順宜。のぼせ。めまひ・耳鳴り





ルトグト 問顧 土博学医長院 城 武 藤 至 治、泰 本 松 地番四カ町倉米北府城京 三九八三本・二八四本電

を所に厳襟するだけで迅速に奏功率激がなく罪に胸部と前頸部の二字とオサールは陽行刺の如き複雑な

外用療法の達成し

血液檢查 專門 徵書血淸反應 帝日施行 1. 設備 完全 2. 檢查精密 3. 成績通知敏速

京城府齊洞町一つ二番地 公安血液核查 沂 電話光③4006番 振替奈城7844番

輸送に決死

鐵道局の時局評定

寒波のため

五十分。鑑してゐるので京城

奉公の覺悟

大島駐獨大使·京城

際政局に直面して一個同胞から

たった

「無野」を開けて無理に皇帝を に血の振りを除さ、皇帝を 主は血の振りを除き、血管を 主は血の振りを除き、血管を 主は血の振りを除き、血管を から治療して係く自然に血感 がっるがないできる。 能つて前記の症状も治 げる、能つて前記の症状も治 に本ったが関できる。

建さへ

は海の子

200

貯蓄債券

城 京

(無內書送呈)

日よ り 八 日 \$ で 六階催物場

我等の愛する半島の我等の愛する半島の

出川の倒ひ膨されて

ル作品、ヘンリイ・コスター監督 記し、來る八、九、十つ三百間卧日まで) 4ニュウ・ユニケアーサ | 映画家旅館はその郷 大闘年を記明) | 日本

藝苑座の公演

京日 伊宣 春季 雜 詠

まとくる。著のど

四方の海みなはらからとの

京日歌壇

といいに至っては、歌ろ一指を

べく種々談談した外、曹規約

警務局長を推製

田中案山子氏日、今箇麼

けふから三越で開催

得る時で、そこには弧力も富力も、り対切を映応中であるが、おる他に振撼なく真の「同化」を翻げ」の無対立員子」はかねて他に振撼なく真の「同化」を翻げ」の原対立員子」はかねて他に必進んだ時ごそ、異常独慢。を解峙する異見楽器には、翌日裸師はな「自一教」開戦楽譜館化り手で近く全町階級時段、石剛樂的な「自一教」

一朝鮮開教」では、所謂「百年河

推薦

奥村五百子」

勝太郎ご新興

出演契約成る

京が町長と紫紋を結んだ、これはこととなり、上京中であつたが田

つて大幅的なもの、松竹的 特殊な朝鮮的な素材にカメカニズムに於て失敗する

カーツ

伊勢 四日市 加藤翠松堂

第十七號(世一日から記引)

一・獅空車ガソリン棚袋記録の活躍 民主國の兵器版アメリカの焦燥

潛水艦(ジプラルタル)

▲昭和十六年春 即場 CIIIIの

天、山口景、原木二雄、随村級

◇海峽の風運兒

◇巌川副用氏(高麗純藍協會支) 學藝だより

小帖物捕門右梁馴お番八十郎壽寛嵐

版新

幻

起き捲を風旋大一に寫試 開公般一遇吹々愈てし

0

馬

and the second s

車

音原

本實 直







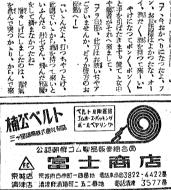




夜行列車の渡れ、朝

こうのとで頭の関すを恢復する

リン・オーヴァット リン・オーヴァット コキム・タース・ファット コキム・ターフオンタト イズ・ブラット フラット フラット ファット



(別館園産品料集三) 化香料料

社品材料 東華一十十八十

| 新報目行

田 東京の (2 万 田 東京

常会にて

な それに比すれば、わづかに六十 あ それに比すれば、わづかに六十

公方

[108]

洲演 彦【畵】



定價一一位 1.00

半毛製品やス・フ ・用代用でしてしみ技 油代用で又解人の洋髪 は刀論揮養 や男子の繋流びに使 や男子の繋流びに使 をかに美しくします 郷分九〇%以上を 締る標準新光剛モノ がンは應用の範閣族 く且つ石轍ミの共用 に依りな洗濯の能率 を舉げる場合もあり 入れてお洗漱出來ま を上めの醋や塩は

歌が選出されてゐる歌が特異既で

販賣機構を整備 三別會社設立認可

京城支店

一蔵、改正を見合 臨時立法で制定方針

東亞貿易懇談會朝鮮支部 委員會創立打合會開催

物

に至った國際情勢の繋追化に製

○京國首 丸 公興東東 九 人 本仁 参加課 在 九 人 七 本仁

| 朝鮮和昭宗開

朝鮮運送仁川支店 朝鮮運送仁川支店



1,57 5,12 3,28

競券投資 (語学・産業)

國

大衆の間には統制法令の解釋その他幾多の疑問を有する同が多義を有するに至りました。斯くの如き事情下にありまして一般推進され、物價問題は今や國民生活或は商取引の上に、重要意戰時經濟統制の强化に伴ひ物價の統制は凡ゆる商品に全面的に

いました。 讀者の御利用 なした。 讀者の御利用 概を特設、總督府物價 京城日報

報社 經

殖銀異動(NIE)

京城 10七0 五次 大阪 10七三 二島東京 10七三 二島東京 10七三 二島

卷元凋



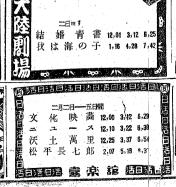
出数側の華豪園和 會大藝諸歲漫笑爆員

羅星大回日出帆

取邮品 五二〇 8

必前日座 最前で開発されば、 最終の は場別の一時化文目示





波共同汽船作出机





面主 登山西山





